

秋田工業高校の近況

秋田県立秋田工業高等学校 校長

有坂 俊吉



このたびの定期人事異動により大曲工業高等学校から異動して参りました。本校には平成3年度から15年度まで機械科の教諭として勤務し、担任、教科、実習指導にあたっておりました。平成13年度からは3年間進路指導主事として生徒の進路実現の支援をしておりました。その節、同窓の皆様には大変お世話になりました。14年ぶりに本校に戻り勤務することになりました。気持ちも新たに頑張るつもりでございますので、よろしくお願いいたします。

三平俊悦会長はじめ東京秋工会の皆様には本校の教育活動の充実、発展のため、日ごろより物心両面にわたる温かい御支援を賜っておりますことに感謝申し上げます。

平成25年から開始された校舎改築事業は着実に進行しております。平成26年度末には体育館、武道館、音楽棟が完成し、以降、卒業式、入学式などの儀式、全校集会などは新築した体育館を使用しております。また、校舎棟の新築、実習棟の改築も平成28年内に完成し、平成29年1月からは新校舎での業務を開始しました。平成28年度第三学期からは授業、実習もスタートしました。明るく、ゆったりとした余裕のあるスペースなど素晴らしい環境で生徒たちは新生秋工での高校生活を満喫しているように見えます。新校舎には、先輩たちの部活動等での活躍を見



歴史ホール

ることのできるヒストリーホールや金砂ホールと名付けた215名収容する階段状の視聴覚室など設備も充実しております。今後、旧管理棟の解体、その跡地を活用した多目的グラウンドの整備、外構工事など改築事業完了は平成30年度を予定しております。



金砂ホール

毎年の恒例事業である開校記念日記念講話を4月28日に開催しました。今年度の講師は全国に29人しかいない、アマチュア野球国際審判員の三浦和幸さんをお願いしました。三浦さんは本校金属工業科平成4年卒業の同窓生で在学中は陸上競技部に在籍していたそうです。今回の講演では三浦さんのこれまでの経験や国際大会へ審判員として派遣された際の体験など貴重なお話をジョークを交えながらしていただきました。講演後、生徒から「一回戦と決勝戦では心構えに違いがありますか」との質問があり、三浦さんは「気持ちの違いは無い。常にその試合の負けを宣告する役目を果たすつもりで臨んでいる。」との回答あり、聞いていた生徒、職員ともに三浦さんの凛とした姿勢に感動しました。

さて、本年10月21日(土)、22日(日)の2日間、第27回全国産業教育フェアが秋田市で開催されます。『産業交響曲(シンフォニー)』～轟け！秋田の大地から～をキャッチフレーズに工業や農業、商業など専門学科で学ぶ高校生が学習の成果を発表する全国規模のイベントです。本校は工業部門のまとめ役、全国高等学校ロボット競技大会の主管校としてフェアの成功のために生徒、職員一同準備に奮闘しております。機会がありましたら御覧いただければと思い御紹介いたしました。

秋工での高校生活をとおして、自立した社会人となる人材を育み、地域に貢献できる秋工健児として社会に送り出すべく頑張っておりますので、引き続き、皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠一
(昭和26年 電気科卒/東京秋工会名誉会長)

弁理士 澤木 紀一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com